# 日記

## 指導計画案

### 指導上の重点目標

【門出】
1 「土佐日記」の文章史・文学史上の位置を確認させる。
2 人物の心情を理解させる。
3 諧謔表現を理解させる。
4 女性に仮託するという虚構の方法について理解させる。
5 旅立ちにあたっての作者や人々の心情を考えさせる。

| | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|---|---|---|
| 導入 | ❶「土佐日記」と作者紀貫之について調べてきたことを発表する。知技 | ❶ 文学史上初の仮名日記であること、作者は歌人としても著名であったことを確認させる。 |
| 展開 | ❶「門出」を音読する。思判表 | ❶ ルビのある語を正確に読むように指導し、間違っている場合は訂正する。 |
| | ❷ 重要古語の意味・用法を確認する。知技<br>❸ 現代語訳し、内容を確認する。思判表 | ❷ 紛らわしい語の識別ができるようにする。また、古典常識に関わる語は体系的に理解させる。 |
| | ❹ 作者がどのような立場で書いているか、確認する。思判表 | ❹ 女性筆者は虚構で、作者自身を第三者として描いていることを理解させる。 |
| | ❺ 諧謔表現を読み味わう。知技 思判表 →「言葉と表現」1 | ❺ 諧謔表現がどのようなおもしろさを持つか説明させる。 |
| まとめと発展 | ❶ 男性の日記と女性の日記のあり方の違いを考え、女性に仮託した意味を考える。知技 主態 →「言語活動」1<br>❷ 第三段・第四段を中心にまとめる。思判表 →「学習のポイント」1・2 | ❶「男の文章と女の文章」も参考にしながら、考えさせる。<br>❷ 見送る人々についてどのように考えているか、「願」を立てたことなどを参考にする。 |

| | | |
|---|---|---|
| 【阿倍仲麻呂】<br>1　作者の置かれた立場を理解させる。<br>2　阿倍仲麻呂の心情を理解し、作者の心情と重ねて考えさせる。 | 導入 | ❶「阿倍仲麻呂」について調べてきたことを発表する。知技 |
| | 展開 | ❶「阿倍仲麻呂」を音読する。思判表<br>❷ 重要古語の意味・用法を確認する。知技<br>❸ 現代語訳し、内容を確認する。知技 思判表<br>❹ 作者が阿倍仲麻呂を想起した理由を考える。思判表<br>→「学習のポイント」1<br>❺ 阿倍仲麻呂の故事について理解する。知技 思判表<br>→「学習のポイント」2<br>❻「都にて」の和歌に込められた心情を読み味わう。思判表 |
| | まとめと発展 | ❶「土佐日記」における和歌の役割を考える。知技 主態<br>→「言語活動」1 |
| 【帰京】<br>1　作者の心情の変遷を捉えさせる。<br>2　冒頭と末尾が呼応している作品の構成を理解させる。 | 導入 | ❶ 帰京した日付を確認し、土佐を出発して二か月弱経過していることに注意する。 |
| | 展開 | ❶「帰京」を音読する。思判表<br>❷ 重要古語の意味・用法を確認する。知技 →「言葉と表現」1<br>❸ 現代語訳し、作者の心情の変化を中心に内容を確認する。知技 思判表<br>→「学習のポイント」1<br>❹ 二首の和歌を鑑賞する。思判表<br>→「学習のポイント」2 |
| | まとめと発展 | ❶ 末尾における作者の心情を考え、その箇所と冒頭部とを読み比べる。主態<br>→「言語活動」1 |

| | |
|---|---|
| | ❶「古今和歌集」にも目を配らせる。 |
| | ❷ 助動詞の意味や省略について確認させる。<br>❹ 船と月の状態を読み取らせ、作者と仲麻呂の共通点を整理させる。<br>❺ どうして阿倍仲麻呂の故事が引き合いに出されたのか、作者の心情と合わせて考えさせる。<br>❻ 仲麻呂の和歌と読み合わせ、それぞれの心境を比べつつ、読み味わう。 |
| | |
| ❶ P七四の地図を使用する。 | ❶ 全文を通して音読する。<br>❷ 文の係り受けにも留意させる。<br>❸ 作者の心情を表す言葉を抜き出させる。<br>❹ 松に関わる古典常識を教え、和歌の理解の助けとする。 |
| | ❶ 作品全体の末尾であることに注意させ、冒頭部と読み比べさせる。 |

| | | |
|---|---|---|
| **【男の文章と女の文章】**<br>1　平安時代における男性と女性の文体や内容の違いを理解させる。<br>2　なぜ紀貫之が女性仮託による文学作品を著すことになったのかを理解させる。 | **導入** | ❶作者について理解する。 |
| | **展開** | ❷本文を黙読する。<br>❸平安時代の日記について、男性のものと女性のものはどのように異なっていたか。文体と内容の面からまとめさせる。知技 思判表　→**「学習のポイント」1**<br>❹平安時代の男性の日記について、誰がどのような名前の日記を残しているか、調べさせる。知技 主態　→**「学習のポイント」2** |
| | **まとめと発展** | ❺「門出」を読み返し、男性の日記と女性の日記のあり方の違いを考え、女性に仮託した意味を考える。知技 思判表 |
| **【単元の言語活動５　変体仮名を読む】**<br>1　日本の伝統的な書記法を学び、幅広く古典に対する関心を持たせる。 | **展開** | 1　変体仮名を読む。知技 主態<br>❶「土佐日記」写本（図版1）の□で囲った文字の字母を「仮名字体表」（図版2）を見て特定する。<br>❷図版1の□で囲った部分を平仮名に置き換える。知技 主態 |
| | **まとめと発展** | 2　図版1と「門出」本文と比べ、本文中で句読点がつけられている箇所に句読点を加える。知技 主態 |

| | |
|---|---|
| | ❸本文に書かれていることを丹念に拾って、男女が対照的になるようにまとめさせる。<br>❹資料集や図書室の資料などを用いて調べさせる。 |
| | ❺女性に仮託するという虚構の方法について理解させる。 |
| | ❶「門出」（七四ページ）に活字で本文が載っているので、それを参考にして仮名字体表を探させる。<br>❷基本的に一字一音であることを伝え、教科書本文と図版を忠実に比べていくようにする。 |